

神奈川県、初公開！
全国で満席が続出、各地で話題となり、ロングランを記録
静かな感動を呼ぶ、グリーフケアの物語
映画「骨なし灯籠」
8月28日(金)～港南台シネサロンで上映始まる

熊本のミニシアターDenkikanで5カ月の大ヒット・ロングラン。その後、東京、名古屋、神戸、福岡など、全国各地で連日満席近い人々がつめかける話題の映画「骨なし灯籠」は、熊本県山鹿（やまが）市の「夏」風物詩「山鹿灯籠」を題材に、亡き人への想いと向き合う、グリーフケアの物語だ。

昨年の東京公開から一年余り。いよいよ！
 神奈川初公開となる、横浜市の港南台シネサロンで
 8月28日（金）から2週間、上映される。

「骨なし灯籠」



（2025 年 5 月 恵比寿ガーデンシネマ）



トロント国際女性映画祭・最優秀初監督賞など、海外映画祭で評価

トロント国際女性映画祭(カナダ)最優秀初監督賞受賞

ロサンゼルス映画賞（アメリカ）最優秀初監督賞、最優秀予告編賞、俳優特別賞受賞

チネチッタ国際映画祭（オランダ）招待上映・観客賞第3位 ＜以上 2023 年＞

桃園映画祭（台湾）招待上映 ＜2025 年＞

海外エアライン 6 社、JAL の機内上映に

ブリティッシュエアウェイズ、ルフトハンザ航空、
 スイス航空、オーストリア航空、オマーン航空、
 ＜2024.7～9＞ エジプト航空＜2025.1～3＞

JAL（国内線、国際線）＜2025.9～2026.2＞



ご当地映画ではない。ロケ地は、歴史漂う温泉町

ロケ地は、熊本県山鹿（やまが）市。江戸時代の宿場町の賑わいを残し、歌舞伎の芝居小屋「八千代座」（国指定重要文化財）や和紙とのりだけで作った「山鹿灯籠」など、豊かな温泉に恵まれた歴史漂う町。この町に、ひとりの男が辿り着くところから物語が始まる。

心を癒す・・・美しい涙と感動の物語

映画「骨なし灯籠」は＜グリーンケア＞の物語でもある。

昨年5月東京公開直前の試写会で、上智大・東京大などの先生方とグリーンケアディスカッションを行い、大好評。今年2月には仙台でも、東北大の先生より開口一番「やられた！」と評されるほど、専門家からの評価が高い作品。その模様は映画公式YouTubeで配信中。

★＜仙台東京＞グリーンケアディスカッション

https://youtu.be/4aYET0y5RnM?si=mlF4S9SjFoA_3uUt



しっとりとした映像と静謐な風景、夜の闇にほんのりと灯る山鹿灯籠の数々・・・

生と死という重いテーマが、これほど深く、そして清々しく描かれている映画は稀ではないか。

姜尚中 熊本県立劇場館長

ふたつに心をわけて、生きるから死んでしまいたいような日々を過ごして、ラストシーンのシーンに「ああ、これは死なないで済んだのだ」と思い、涙がとめどなく溢れてきました。たくさん泣いて映画を観た人、心が少し軽くなっていました。 (50代女性)

生と死という重いテーマが、これほど深く、そして清々しく描かれている映画は稀ではないか。

大切な人を亡くしたあなたに届けたい美しい涙と感動の物語

妻との結婚をずっと大切にしていた (40代男性)

2回観ると登場人物の心がより深く読み解ける (50代男性)

8/29(土)・30(日) 両日ともに12:30～上映後
木庭撫子監督の舞台挨拶＆サイン会あり
※パンフレットご購入者に監督がサインいたします

8/28(金)～9/3(木) 12:30～ 9/4(金)～10/1(木) 10:30～ バリアフリー日本語字幕付き上映
耳の不自由な方にも映画を楽しんでいただけます

シネサロン 港南台 3-3-1 港南台 214 ビル 3F
TEL 045-831-3377

しっとりとした映像と静謐な風景、夜の闇にほんのりと灯る山鹿灯籠の数々・・・

生と死という重いテーマが、これほど深く、そして清々しく描かれている映画は稀ではないか。

姜尚中（熊本県立劇場館長）

★神奈川初公開！

港南台シネサロン

横浜市港南台 3-3-1 港南台 214 ビル 3F
045 - 831 - 3377

日時：2026年8月28日(金)～9月3日(木)12時30分～

★9月4日(金)～10日(木) 10時30分～

※2週目の9/4～10は、＜バリアフリー日本語字幕版＞で上映

耳が不自由な聴覚障がいのある方々だけでなく、高齢で耳が聞こえづらい方々にも映画を楽しんでいただけます。

舞台挨拶：8月29日(土)及び30日(日)

※両日ともに、12時30分上映後、監督舞台挨拶あり

登壇/ 木庭撫子（映画「骨なし灯籠」 脚本・監督・編集）

<2025 年東京公開～1 か月の恵比寿ジャック>

映画「骨なし灯籠」は、大資本もなく配給も自ら行う。倉本聰の富良野塾で学び、脚本家として長く活動してきた木庭撫子（こば・なでしこ）が、この作品で映画監督に初挑戦。夫であるプロデューサー木庭民夫とともに、手作りのプロモーションを行い、汗をかいて全国行脚を続ける映画だ。



2024 年 3 月熊本先行上映で5か月のロングランを皮切りに全国展開を始めるが、東京はなかなか決まらなかった。そんな中、神戸や名古屋で大入りが続いたことで交渉、独自の戦略で東京へ！

2025 年 5 月に恵比寿ガーデンシネマで2週間、6 月には東京都写真美術館で2週間、計1か月の「東京公開～恵比寿ジャック」を果たした。

恵比寿の様子は、映画公式 YouTube で配信中。

★祝 東京公開 涙の舞台挨拶

<https://youtu.be/3vRoj74X-B0?si=D3JBUCx6RZaqcQdj>

以降、全国に拡大。行く先々で満席や大入りを記録し、上映館を伸ばし続けている。

熊本先行上映から2年半。東京公開から1年。

今もなお「新作」として上映を続けている作品は、稀ではないだろうか。

<監督からのメッセージ>

人は、ひとりでは生きられません。

「世捨て人」と自称する人も、ひきこもりの人も、他者との関わりを一切捨てることはできません。生きることに関心がなくとも、死んだも同然、であっても、日々の生活は続きます。不意に訪ねてくる人もあれば、隣人にごみ捨てを注意されたり、すれ違いざまに、「おはよう」と笑顔を向けられたり。明日を見出すための「きっかけ」「力」「原動力」は、自分ではない他の誰かから得られるもの。いまそこにある何気ない風景によって、育まれるものではないでしょうか。

映画「骨なし灯籠」のテーマは、「共生」です。「他者との会話」「環境との共存」を問う映画です。ほんとうはどう生きたいか、ほんとうの自分は何か。

明確な答えはでなくとも、きのうとは少し違った明日を迎える・・・

この映画を観終わったとき、あなたのところに、小さくとも温かい「灯」が、灯ることを願います。

映画「骨なし灯籠」脚本・監督・編集 木庭撫子

映画「骨なし灯籠」公式 HP <http://honenashi.com>

<お問合せ先>

熊本やまが映画プロジェクト

映画「骨なし灯籠」プロデューサー 木庭（こば）民夫

tamiokoba0802@gmail.com 090 - 3478 - 8036